

第5章 施設整備計画

1. 基本的な考え方

新施設における基本理念（目指す姿）の実現に向けて、整備に関する基本的な考え方を次のとおりとします。

（1）多様な利用者が集い、学び、交流し、活動する場

- ・ 市民・利用者の学びの場として、目的・テーマに応じた各種展示スペースを設けるほか、隣接する葦山時代劇場の各施設との一体的な利活用により、参加・体験型の学習機能を確保します。
- ・ 市民・利用者の交流・活動の場として、市民などによる様々な文化活動の取組や成果などを展示・発表する空間を整備します。

（2）市内周遊を促進する仕組み

- ・ 立地環境を活かし、本市の主要な史跡などを眺望できる空間を整備するほか、他施設との連携を活かしたプログラムを展開するなどして、市内周遊を促進します。

（3）ユニバーサルデザインへの対応

- ・ 誰もが安心して利用できる施設を目指し、ユニバーサルデザインに配慮した施設とします。

（4）SDGs に沿った施設整備と災害への対応

- ・ 省エネルギー型の空調システムや照明の導入など、環境負荷の少ない施設の在り方を検討します。
- ・ 環境に配慮した資材や物品の調達・導入に努めます。
- ・ 浸水や火災などの災害から、展示室・資料や電源などの機械設備が被害を受けないように配慮した施設とします。

（5）駐車場・アプローチの整備

- ・ 隣接する葦山時代劇場との共用駐車場として、安全を確保した上でより効率的なスペースの配置を検討します。
- ・ 葦山時代劇場や最寄りの伊豆箱根鉄道駿豆線葦山駅から訪れる来館者が、安全かつ円滑に移動できる環境整備を行います。

2. 立地環境

新施設の整備予定地は、郷土学習との連携、市民・来館者の利便性、財政負担及び施設活動の効果的な展開などを総合的に勘案し、葦山時代劇場大駐車場内とします。

当地は、市内の史跡などが立地する中心に位置し、また、伊豆箱根鉄道駿豆線葦山駅から徒歩5分の位置に立地することから、児童・生徒の郷土学習及び来館者の市内周遊の導入・拠点として適しています。

また、現状において市有地であることから、用地確保に係る財政負担も生じません。



図 周辺環境と国指定文化財の位置

さらに、葦山時代劇場に隣接していることから、講演会・セミナー及び体験学習・ワークショップなどを同劇場内の施設において開催するなど、一体的な利活用が可能であり、より充実した施設活動の展開を図ることができます。

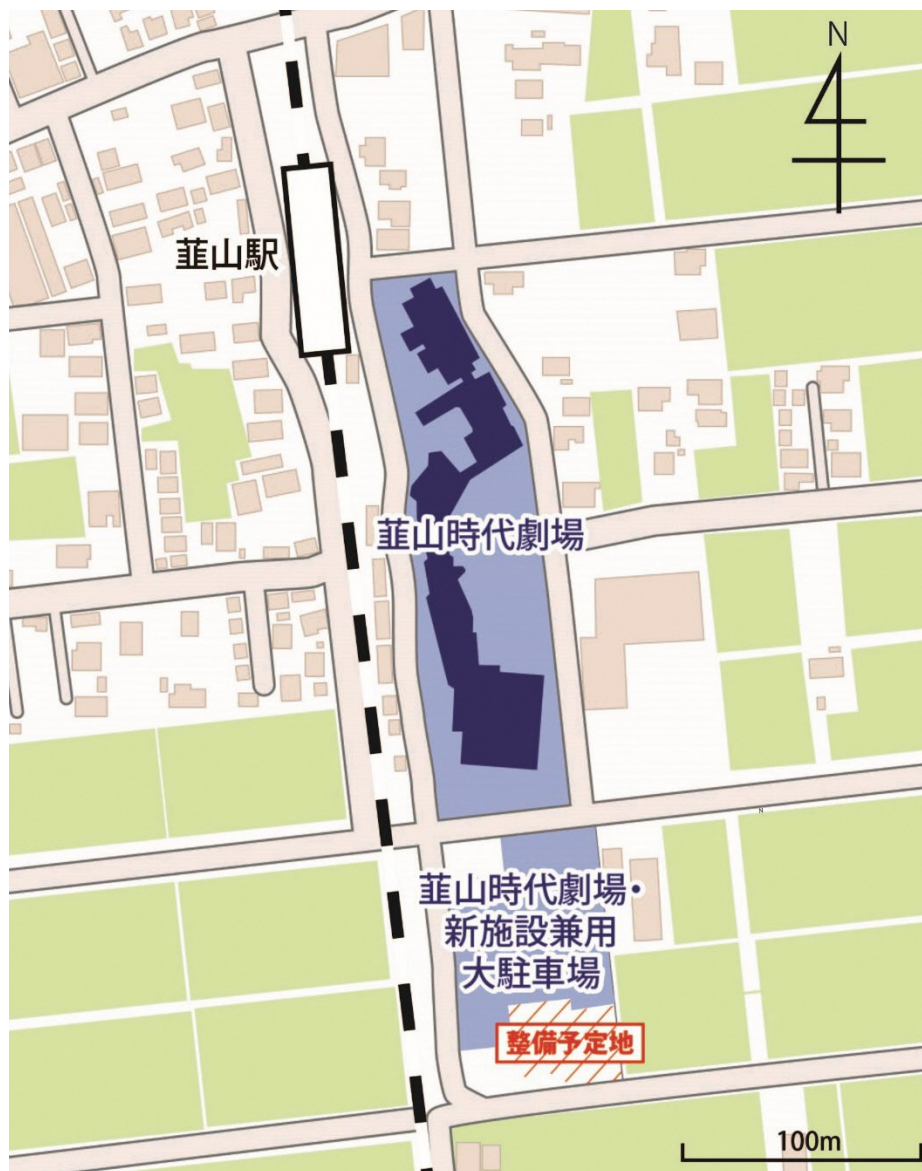


図 整備予定地と葦山時代劇場の位置

3. 敷地条件と配置計画

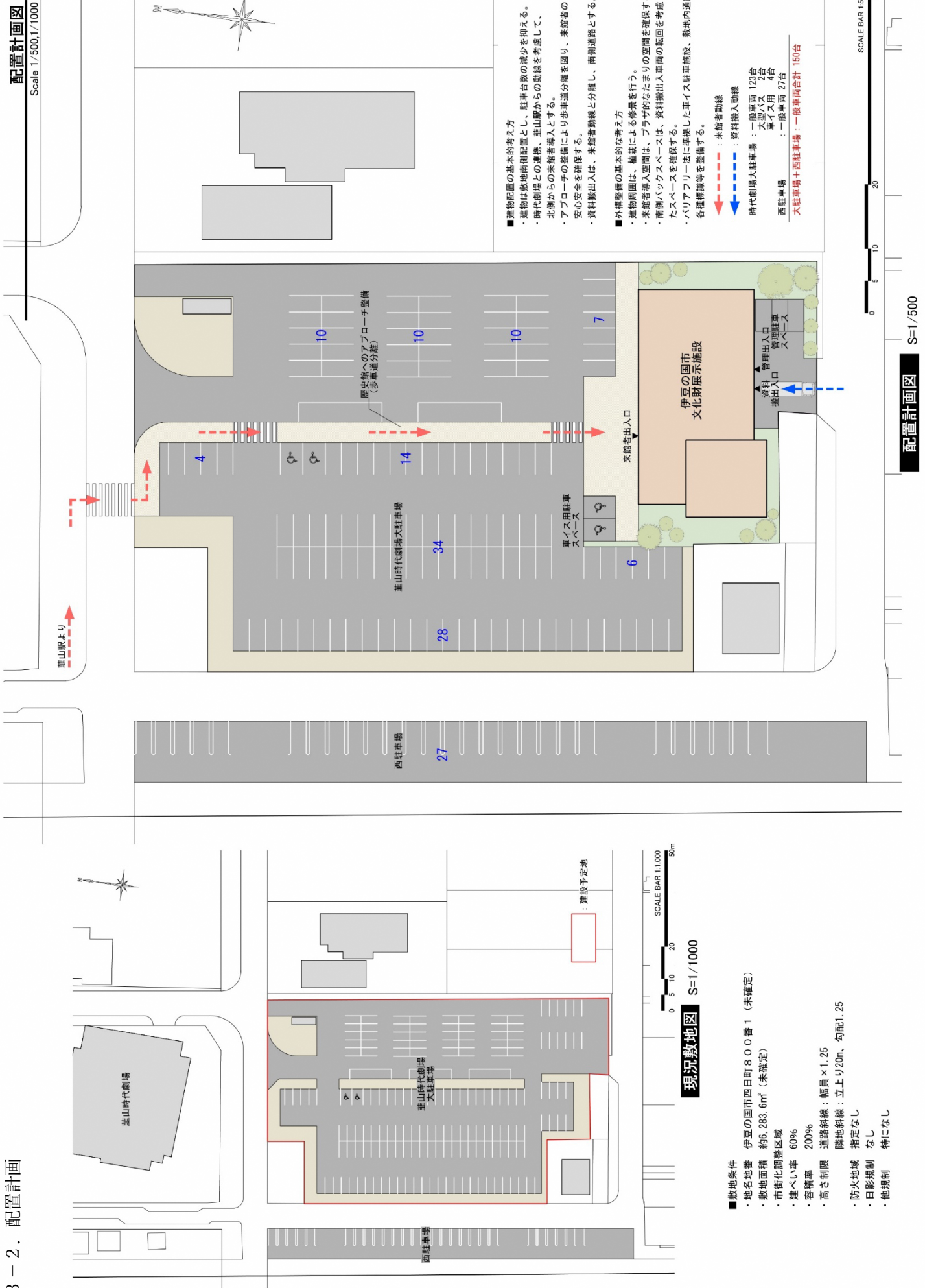
3-1. 敷地条件・関連法令

敷地条件と関連法令などは、以下のとおりです。

地名地番	伊豆の国市四日町 800 番地 1 (未確定)
敷地面積	6,283.6 m ² (未確定)
都市計画区域	市街化調整区域 (建築可)
用途地域	指定なし
建ぺい率	60%
容積率	200%
防火地域	指定なし
高さ制限	道路斜線 (道路幅員×1.25)、隣地斜線 (立上り 20m+勾配 1.25)
関連法令など	・建築基準法 ・消防法 ・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (バリアフリー法) ・教育基本法 ・博物館法 ・文化財保護法 ・静岡県福祉のまちづくり条例 ・伊豆の国市景観計画 など

表 敷地条件・関連法令など

3-2. 配置計画



配置計画図
Scale 1/500,1/1000

配置計画図 S=1/500

■建物配置の基本的考え方

- ・建物は敷地南側配置とし、駐車台数の減少を抑える。
- ・時代劇場との連携、垂山城からの動線を考慮して、北側からの来館者導入とする。
- ・アプローチの整備により歩車道分離を図り、来館者の安全安全を確保する。
- ・資料搬出入は、来館者動線と分離し、南側道路とする。

■外構整備の基本的な考え方

- ・建物周囲は、植栽による緑化を行う。
- ・来館者導入空間は、プラザ的なまわりの空間を確保する。
- ・南側バックスペースは、資料搬出入車両の巡回を考慮したスペースを確保する。
- ・バリアフリー法に準拠した車イス駐車施設、敷地内通路、各種標識等を整備する。

- 来館者動線
 - 資料搬入動線
- 時代劇場大駐車場
 一般車両 123台
 車イス用 4台
 集客スペース 27台
- 西駐車場
 一般車両 27台
- 大駐車場+西駐車場：一般車両合計 150台

現況敷地図 S=1/1000

- 敷地条件
- ・地名地番 伊豆の国市四日町800番1 (未確定)
 - ・敷地面積 約6,283.6㎡ (未確定)
 - ・市街化調整区域
 - ・建ぺい率 60%
 - ・容積率 200%
 - ・高さ制限 道路斜線：幅員×1.25
 隣地斜線：立上り20m、勾配1.25
 - ・防火地域 指定なし
 - ・日影規制 なし
 - ・他規制 特になし

4. 諸室機能と全体構成

4-1. 諸室機能

新施設における活動を効果的に展開するため、以下の諸室機能を設けます。

機能	室名	概要	想定規模
展示	プロローグ展示	映像や年表など	40 m ²
	常設展示室	時代別テーマ展示により本市の歴史・文化の特徴や時代の変換点などの理解を深めるとともに、現地に誘う展示	360 m ²
	企画展示室	常設展示に含まれない歴史資料や有形・無形民俗資料、最新の調査・研究成果などを展示	50 m ²
	展示準備室		20 m ²
展示・展望	展望室	360° パノラマ展望に位置情報を示すパネル	135 m ²
交流	市民交流スペース	市民による文化活動の成果の展示や発表など	80 m ²
インフォメーション	エントランスホール 情報発信スペース 観光情報スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2階、3階展示室への期待感を持たせ誘導する空間 ・ 市内各所の紹介及び周遊を促進する情報提供 ・ 市内観光情報を提供 ・ 総合受付、ロビー 	115 m ²
調査・研究	調査研究室	職員が調査研究活動を実施	40 m ²
管理・運営	事務室		30 m ²
	倉庫		15 m ²
	搬入スペース		30 m ²
	一時保管庫		20 m ²
	電気室・機械室		20 m ²
共用・その他	トイレ		40 m ²
	通路		175 m ²
	エレベーター		30 m ²
合計			1,200 m ²

表 諸室機能

なお、新施設の活動を補完するものとして、隣接する葦山時代劇場の各施設を利用して以下の事業などを展開します。

施設名称	規模・定員数など	事業など
大ホール	509 席	講演会、セミナーなど
映像ホール	120 名	セミナー、講座など
研修室 1	42 名	会議、研修、ワークショップなど
研修室 2	24 名	
リハーサル室 1	45 名	
リハーサル室 2	20 名	
和室	72 名 (33 畳)	
アトリエ	24 名	体験学習、ワークショップなど
アトリエ前スペース	約 100 m ²	火起こし体験、体験学習など
日だまり広場	約 1100 m ²	体験学習など
その他スペース (屋外)		学校団体昼食など
葦山図書館	蔵書数約 67 千冊	自主学習、各種イベントなど

表 葦山時代劇場を利用した事業展開

4 - 2. 機能構成

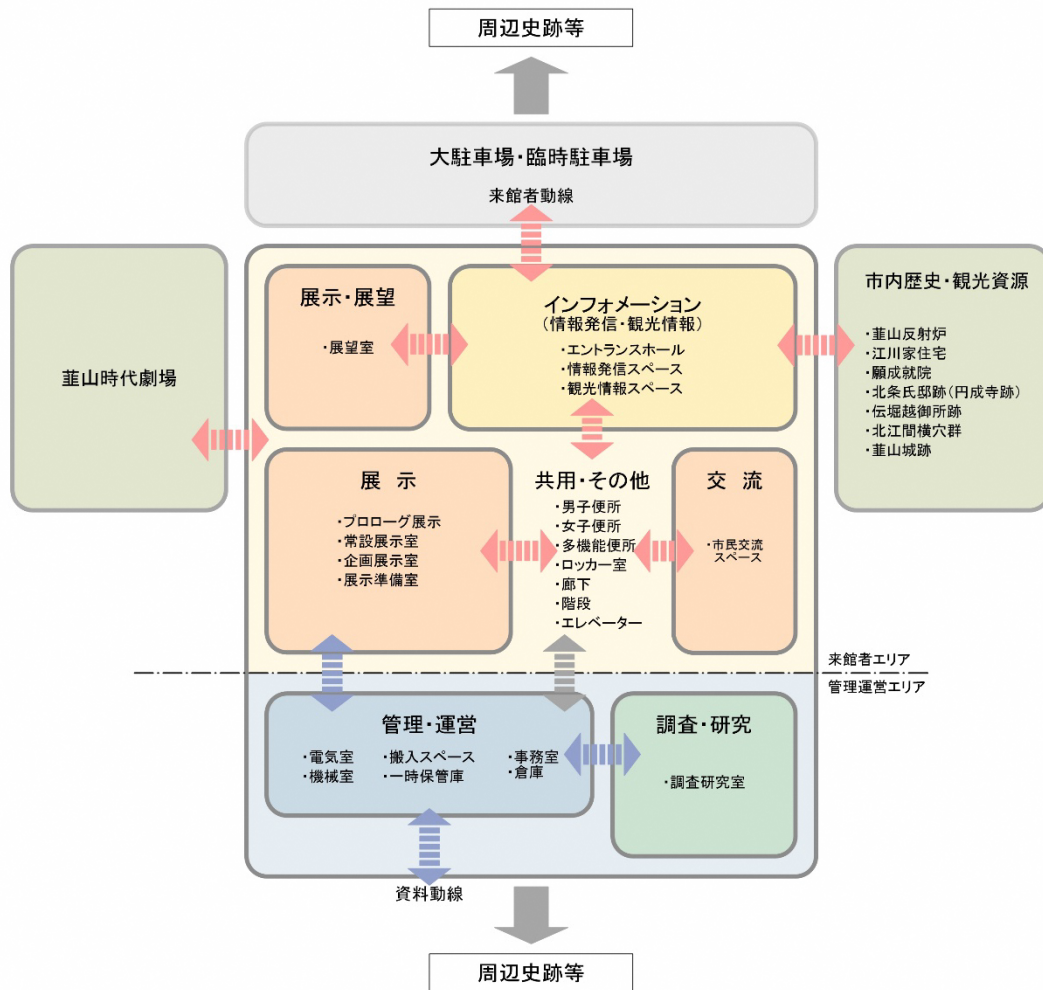
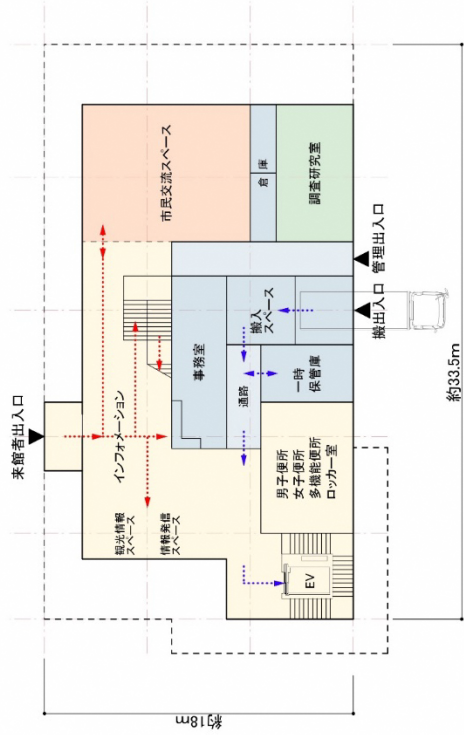
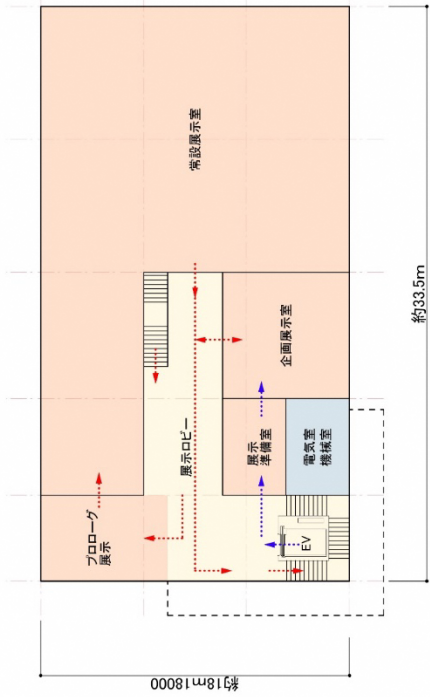
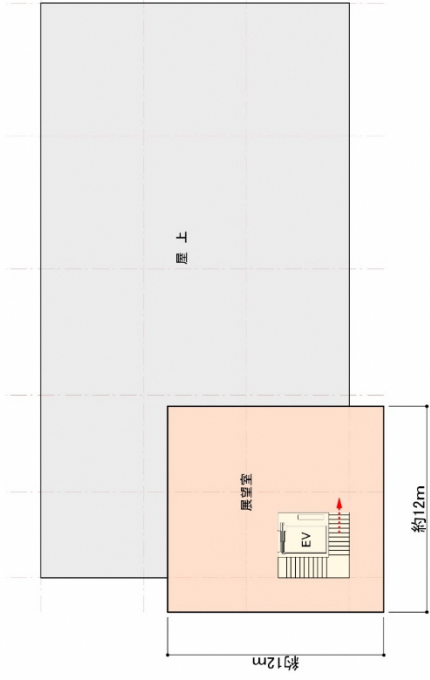


図 機能構成

4-3. 平面構成

ブロックプラン
Scale 1/300



< 面積表 >

階	建築面積 延べ面積	620㎡ 1,200㎡	室名	展示室	理想規模 (㎡)	備考
3 F	150	150	展示室	展示室	135	
2 F	600	600	EV・階段・廊下・共用スペース プロローグ展示 常設展示室 企画展示室 展示準備室 展示ロビー 電気室・機械室 EV・階段・廊下・共用スペース	EV・階段・廊下・共用スペース プロローグ展示 常設展示室 企画展示室 展示準備室 展示ロビー 電気室・機械室 EV・階段・廊下・共用スペース	15 40 360 50 20 60 20 50	
1 F	450	450	インフォメーション 市民交流スペース 調査研究室 搬入スペース 一時保管庫 事務室 倉庫 男女便所・多機能利用・ロッカー室 EV・階段・廊下・共用スペース	インフォメーション 市民交流スペース 調査研究室 搬入スペース 一時保管庫 事務室 倉庫 男女便所・多機能利用・ロッカー室 EV・階段・廊下・共用スペース	115 80 40 30 20 30 15 40 80	エントランスホール、情報発信スペース、観光情報スペース
			合計		1,200	



5. 環境・防災に配慮した整備計画

5-1. ZEB の導入について

「第2次伊豆の国市総合計画後期基本計画」に示されるとおり、本市では、脱炭素社会に向けた主要施策として、地球温暖化対策の推進や再生可能エネルギーの普及啓発を掲げています。

また、「伊豆の国市環境基本計画」では、低炭素社会の実現には、省エネルギーの一層の推進と再生可能エネルギー設備の普及が必要であり、環境に配慮した取り組みを推進することにより、環境負荷の少ないライフスタイル・ビジネススタイルが確立されたまちづくりを進めることを基本方針として定めています。

これらの考えのもと、ライフサイクルコストを低減し、脱炭素社会の実現に寄与する施設のあり方として、新施設における ZEB (※) の導入を検討します。

ZEB には、「ZEB Oriented」「ZEB Ready」「Nearly ZEB」「ZEB」の4段階の定性的及び定量的基準があります。

ZEB の種類	基準
ZEB Oriented	年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物。
ZEB Ready	『ZEB』に限りなく近い建築物として、ZEB Ready の要件を満たしつつ、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量をゼロに近づけた建築物。
Nearly ZEB	『ZEB』を見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物。
ZEB	ZEB Ready を見据えた建築物として、外皮の高性能化及び高効率な省エネルギー設備に加え、更なる省エネルギーの実現に向けた措置を講じた建築物。

表 ZEB の種類と基準

新施設における ZEB の導入や適合段階については、建築設計段階で検討します。

※ZEB :

経済産業省資源エネルギー庁が発表した「ZEB ロードマップ検討委員会とりまとめ」(平成 27 年 12 月)において、「先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物」と定義されている。

5-2. 防災機能の整備

新施設及び文化財などへ影響を及ぼす可能性があるリスクとして、主に自然災害・事故など・その他が想定されます。

- 自然災害；地震・風水害（浸水）・火山・雪害
- 事故など；火災・設備事故など
- その他；人的外的要因による災害

上記の内、特に、浸水と火災への対応についての整備の基本的な考え方を整理します。

（1）自然災害（浸水）への対応

「伊豆の国市防災マップ（令和3年2月）」の洪水・土砂災害ハザードマップに示されているとおり、新施設の建設予定地は、1000年に1回程度とされる想定最大規模の降雨によって浸水した場合に想定される浸水深（3.0m～5.0m 未満）の区域に指定されているため、施設の維持管理及び文化財保護の観点から対策を施す必要があります。

① 展示関連諸室の2階又は3階への設置

- ・ 展示関連諸室は、想定される浸水深を考慮して、地盤+5.0m以上の高さとなる2階又は3階に設置します。
- ・ 一時保管庫の床・壁・天井は、防水性のある材料で構成し、出入口は止水性能を有した扉とします。

② 建築内部への浸水対策

- ・ 止水性のある外壁を採用します。
- ・ 開口部止水対策として、可能な限り開口部が少なくなるように計画し、開口部の止水性能の向上を図ります。また、開口部強度を高め、水圧による破損を防止します。
- ・ 不慮の事態に備え、外からの進入口は、必要最小限に制限します。また、出入口に防水板を設置するほか、設備配管などの外壁貫通部の止水性の向上も図ります。

③ 材料・構法の工夫

- ・ 耐水性材料、防汚性材料を採用します。

④ 設備機器の対策

- ・ 電気及び空調設備機器は、高所への設置を検討します。
- ・ 電気設備は、屋内への設置についても検討します。

(2) 火災への対応

① 建築の対策

- ・ 不燃材料の採用や避難経路の単純化など、耐火建築物として計画します。

② 消防設備の対策

消防法に適合した消火設備を設置します。

施設規模約1,200㎡（耐火建築物）の場合の必要設備は、以下のとおりです。

- ・ 消火設備：消火器具
- ・ 警報設備：自動火災報知設備
- ・ 避難設備：誘導灯・誘導標識

6. 施設イメージ



図 施設イメージ

第6章 展示計画

1. 展示コンセプトと基本的な考え方

1-1. 展示コンセプト

新施設の展示コンセプトを次のとおり設定します。

伊豆の国市の歴史・文化のストーリーと魅力を発信
学び、体感を通じて過去と現代をつなぎ、フィールドへ、そして未来へ

本市の豊かな自然の中で繰り広げられてきた人々の多様な営みや、育まれてきた文化など、地域の歴史・文化のストーリーと、その魅力を伝える展示とします。

また、展示を通じて学び、歴史の魅力を体感することにより、過去と現代をつなぎ、フィールドに誘うとともに、未来へつなげる空間を目指します。

1-2. 基本的な考え方

展示コンセプトに基づき、基本方針を次のとおり設定します。

- (1) 歴史と対話する展示
- (2) 伊豆の国市の歴史・文化の魅力を分かりやすく伝える展示
- (3) 学習効果を高める展示
- (4) 市内各地への周遊を誘う展示
- (5) 最新の調査・研究成果を伝える展示

(1) 歴史と対話する展示

- ・ 歴史・文化の価値を伝えるため、実物資料を間近で詳細に観覧できる展示環境を整備します。
- ・ 実物資料の展示が困難な場合には、その代替としてレプリカなどを用いた展示を検討します。

(2) 伊豆の国市の歴史・文化の魅力を分かりやすく伝える展示

- ・ 子どもから大人まで、市民が自分の暮らす地域に多種多様な文化財があることを知り、その価値を発見できる展示、市民自らが伊豆の国市の歴史・文化を誇れる展示をめざします。
- ・ 本市の歴史や文化にあまり馴染みのない観光客など、あらゆる来館者層に留意した展示や解説を行います。
- ・ 誰にでも分かりやすく、楽しく伝える展示として、五感に訴える手法や AR など最先端の IT 技術を用いて、直感的に学べる手法を検討します。
- ・ 展示の高さの配慮やカラーユニバーサルデザインの導入、音声による解説など、多様な人々が楽しめる展示のあり方を検討します。

(3) 学習効果を高める展示

- ・ 模型や復原イラストなどを活用して、当時の生活の様子などを分かりやすく伝えるとともに、クイズやハンズ・オン展示などを配置して、能動的な展示体験による深い学びを提供します。

(4) 市内各地への周遊を誘う展示

- ・ 史跡や市内他施設での体験と合わせて総合的に展示のあり方を検討し、各地への周遊を誘う拠点施設として地域情報の発信を行います。

(5) 最新の調査・研究成果を伝える展示

- ・ 最新の調査・研究成果などについて、企画展などにより速やかに伝えるとともに、その後は、必要に応じて常設展示への反映などを検討します。

2. 展示テーマ・構成

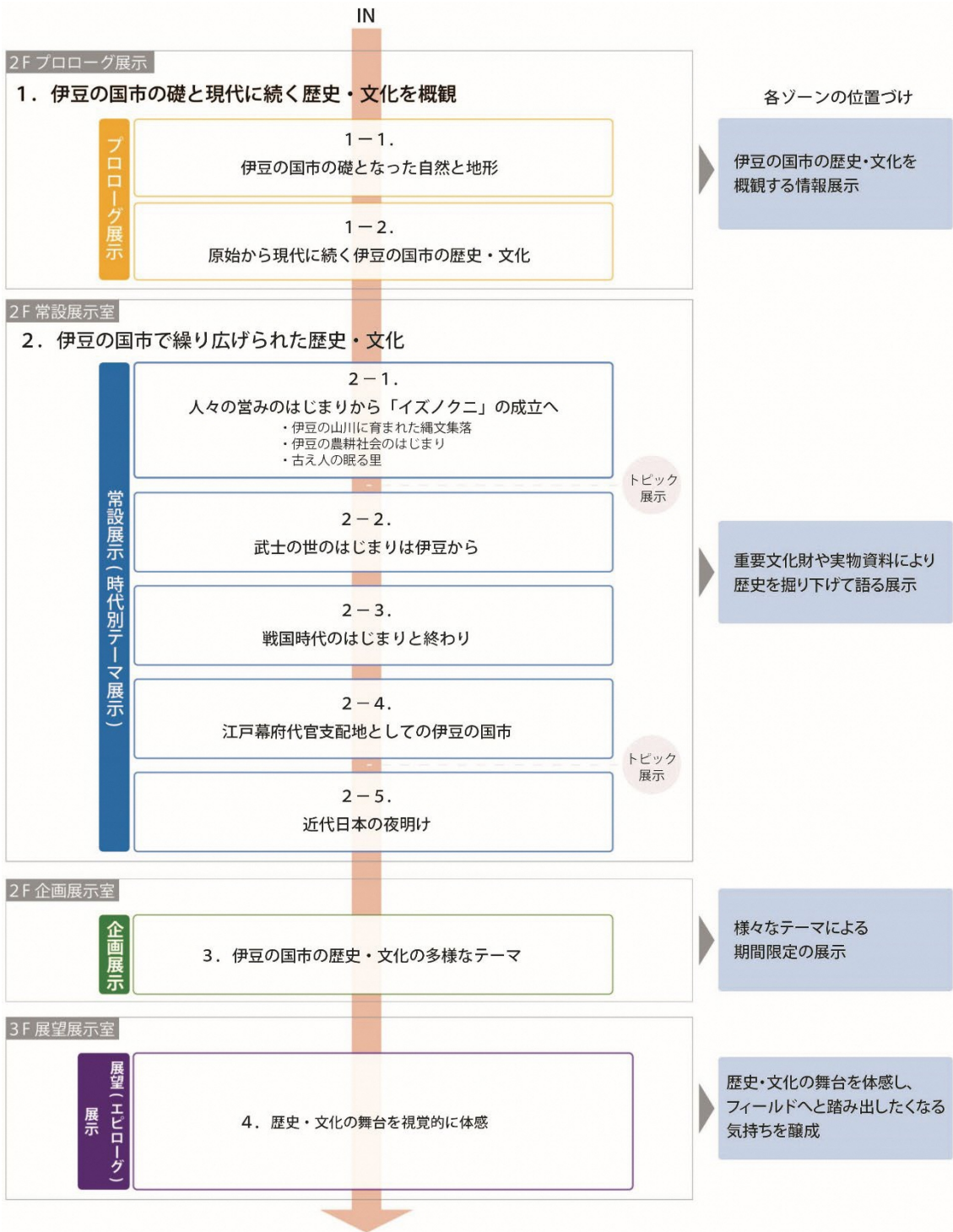


図 展示テーマ・構成

3. 展示イメージ

3-1. プロローグ展示

(1) 伊豆の国市の礎となった自然と地形

- ・ 本市の礎である豊かな自然環境や地形などについて、地質図や地形図などを用いて紹介します。

(2) 原始から現代に続く伊豆の国市の歴史・文化

- ・ 本市の豊かな自然のもとで、原始から現代まで繰り返されてきた人々の営みや育まれてきた歴史・文化の概要について、時系列で伝える導入シアターや年表などにより紹介します。

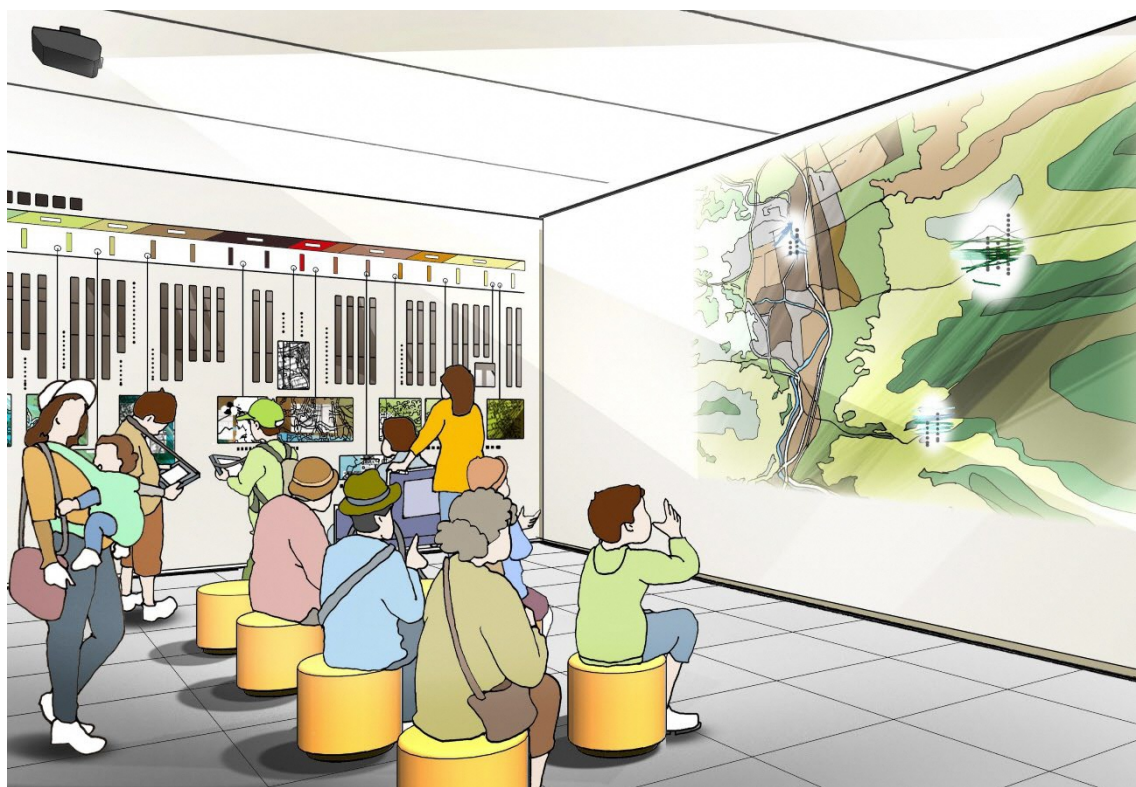


図 プロローグ展示イメージ案

3-2. 常設展示

(1) 人々の営みのはじまりから「イズノクニ」の成立へ

歴史・文化の特徴：①人の定着からイズノクニ形成への足跡

①伊豆の山川に育まれた縄文集落

時 代	縄文時代
遺 跡	仲道A遺跡、公蔵免遺跡、大平遺跡など
展示品	縄文土器、土偶、石器など
展示イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縄文土器の多様な形状や文様を立体的な配置による集合展示で見せます。 ・ 特に装飾性の高いものや価値のある資料、矢じりなどはポップアップ展示とするなど、実物資料を間近に見られる展示のあり方を検討します。

②伊豆の農耕社会のはじまり

時 代	弥生時代
遺 跡	山木遺跡、蛭ヶ島遺跡など
展示品	木製品、土器など
展示イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山木遺跡出土の農具や高床式倉庫の一部などを復元的に展示するなどして、当時の生活をイメージさせます。

③古え人の眠る里

時 代	古墳時代～奈良時代初頭
遺 跡	多田大塚古墳群、史跡北江間横穴群
展示品	埴輪、短甲、馬具など（多田大塚古墳群） 石櫃、須恵器など（北江間横穴群）
展示イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当時の権力の広がりや精神世界について、副葬品から読み取れる出来事を展示します。 ・ 「若舎人」石櫃は、横穴墓から出土したことが分かるような展示とし、また、当地と中央のつながりや埋葬方法の先進性（火葬）を示します。

(2) 武士の世のはじまりは伊豆から

歴史・文化の特徴：②武士の世のはじまり・中世の東国動乱の要の地

時 代	平安時代末～室町時代
遺 跡	史跡北条氏邸跡（円成寺跡）、史跡願成就院跡、史跡伝堀越御所跡
展示品	かわらけ、陶磁器、瓦など
展示 イメージ	・ 北条氏館と願成就院、狩野川、中世下田街道などについて、出土品や絵巻物を用いることで、当時の生活の様子を想像できる展示とします。

(3) 戦国時代のはじまりと終わり

歴史・文化の特徴：③戦国時代の幕開けから天下統一布石の地へ

時 代	戦国時代
遺 跡	葦山城跡及び付城跡群
展示品	かわらけ、陶磁器、鉄砲玉など
展示 イメージ	・ 天正18年の合戦について、例えば葦山城跡とその周辺部を切り取った模型やスクリーンなどへプロジェクションマッピング映像を投影するなどし、自分たちが住んでいる地がかつては合戦の場であったということが実感できる展示とします。

(4) 江戸幕府代官支配地としての伊豆の国市

歴史・文化の特徴：④幕府直轄の代官支配地

時 代	江戸時代
遺 跡	史跡葦山役所跡
展示品	紹介パネル
展示 イメージ	・ 江戸時代の地方行政の中心的な役割を果たした史跡葦山役所跡や重要文化財江川家住宅（現地）へ誘うインフォメーション展示を検討します。

(5) 近代日本の夜明け

歴史・文化の特徴：⑤近代産業への飛躍の一翼

時 代	幕末～明治時代
遺 跡	史跡葦山反射炉
展示品	紹介パネル
展示 イメージ	・ 史跡葦山反射炉（現地）へ誘うインフォメーション展示を検討します。

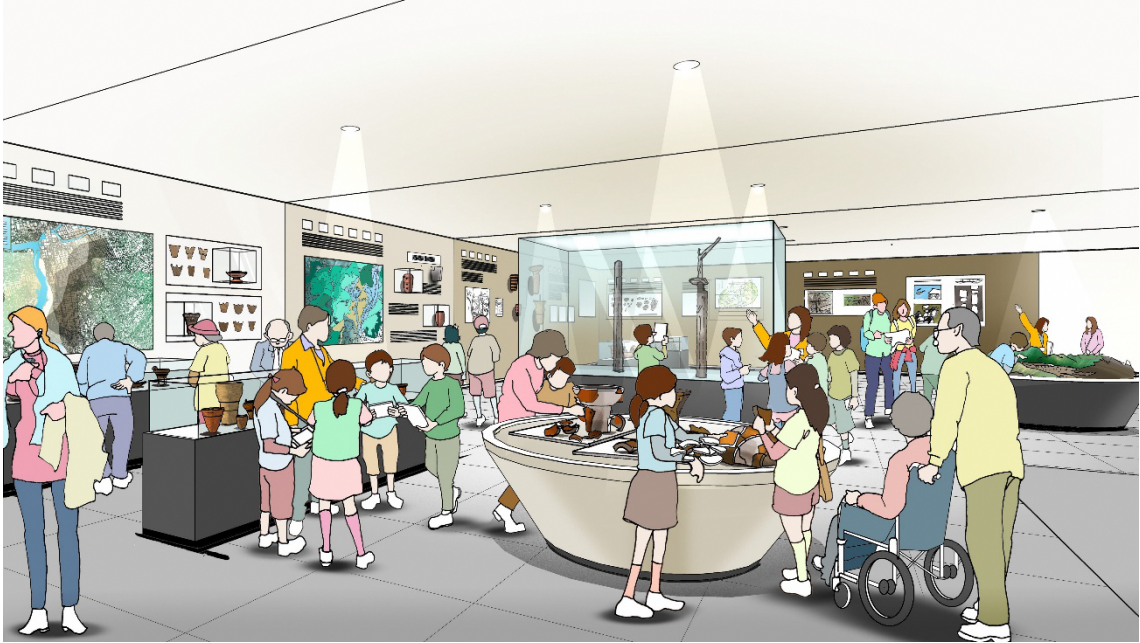


図 常設展示イメージ案

3-3. 企画展示

- ・ 時代別テーマに含まれない歴史資料や有形・無形民俗資料、最新の調査研究成果など、本市に関する多様なテーマについて、収蔵資料及び借用資料を活用した企画展示を期間を設けて開催します。

3-4. 展望（エピローグ）展示

- ・ これまでに紹介した市内の主要な史跡などの立地に加え、本市の歴史と密接に関連する三島や箱根方面も見渡せる展望スペースにおいて、位置情報を示すパネルや床面航空写真を設置し、各展示において得た知識を実感を持って深めるとともに、往時に思いを馳せ、現地を巡る気持ちを高める空間とします。
- ・ 本市の豊かな自然や歴史・文化が織りなす眺望により、郷土への誇りや愛着が感じられる場とします。



図 展望（エピローグ）展示イメージ案

4. 展示構成・展示手法例

大項目	中項目	資料種類・手法例
1 プロローグ展示	1 伊豆の国市の礎となった自然と地形	・解説・演出グラフィック(地形・地質図など)
	2 原始から現代に続く 伊豆の国市の歴史・文化	・解説・演出グラフィック(年表など) ・映像(本市の歴史・文化を紹介、 原始から現代まで、自然)
2 常設展示	1 縄文時代： 伊豆の山川に育まれた縄文集落	・解説・演出グラフィック ・実物資料：縄文土器、土偶、石器 ・ハンズオン展示
	2 弥生時代： 伊豆の農耕社会のはじまり	・解説・演出グラフィック ・実物資料：農具、木製品、土器 ・復元模型
	3 古墳時代から奈良時代初頭： 古え人の眠る里	・解説・演出グラフィック ・実物資料：埴輪、短甲、馬具など(多田大塚古墳群) 石櫃、須恵器など(北江間横穴群)
	2 平安時代末～室町時代： 武士の世のはじまりは伊豆から	・解説・演出グラフィック ・実物資料：かわらけ、陶磁器、瓦 ・ハンズオン展示
	3 戦国時代： 戦国時代のはじまりと終わり	・解説・演出グラフィック ・実物資料：かわらけ、陶磁器、鉄砲玉 ・プロジェクションマッピング
	4 江戸時代： 江戸幕府代官支配地としての 伊豆の国市	・解説・演出グラフィック ・写真
5 幕末～明治時代：近代日本の夜明け	・解説・演出グラフィック ・写真	
3 企画展示	- 伊豆の国市の歴史・文化の 多様なテーマ	・解説・演出グラフィック ・写真 ・実物資料
4 展望(エピローグ)展示	- 歴史・文化の舞台を視覚的に体感	・パノラマ写真(史跡など位置情報) ・床面航空写真

表 展示構成・展示手法例

5. 展示解説の考え方

(1) 誰にでも分かりやすく伝わる解説

- ・ 多様な来館者が誰でも楽しく学べるよう、親しみやすい言葉やクイズ形式を取り入れるなど、興味・関心を惹きつけるとともに、自発的な思考や能動的な体験を促します。
- ・ 小・中学生向けの解説パネルやワークシートなど、学校団体での利用や自主学習に対応した解説手法を導入します。

(2) 多言語対応

- ・ 外国からの来館者も理解できる展示として、必要な情報量なども精査した上で、多言語での解説を検討します。